カタログ
No.252-1

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
内装仕上げの制限なし

超高耐候性2液反応硬化形水性無機系塗料

水性無機コートSi

超低汚染　難燃性

スズカファイン

PAINTING EVOL

「有機」から「無機」へ時代は進化する

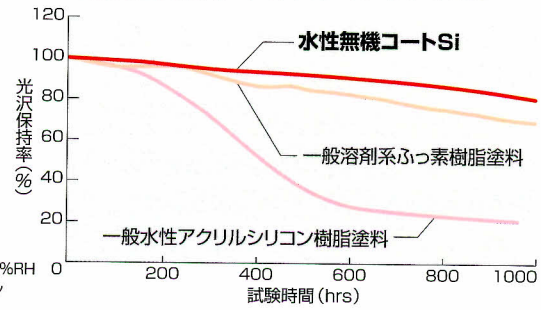
無機物質……建築材料としては石やガラスを代表とする物質で、
歴史的建造物が美しい姿を現在に伝えていることにより、その耐久性が証明されています。
水性無機コートSiは、無機ポリマーを主体としていますので、無機の特性である難燃性、超低汚染性を発揮します。
さらに、紫外線エネルギーより高い無機ポリマーの分子間結合力が、塗膜の劣化を防ぐことにより、
優れた耐候性を示します。
また、有機物質をハイブリッドすることにより、適度な柔軟性を有し、
ひび割れに強い塗膜を形成すると共に、従来の有機系塗料と同様の耐アルカリ性を有しています。
「水性」「無機・有機のハイブリッド」により、
環境に優しく、強い無機塗料を実現し、次世代への建物の継承を強力にバックアップします。

大切な財産を、美しいまま次世代へ。

超高耐候性

水性無機コートSiは、化学的に安定したポリシロキサンを形成する無機質ポリマーを主成分としているため、紫外線や熱に起因する劣化に強く、耐候性に優れています。
ふっ素樹脂塗料を凌ぐ耐候性が期待でき、ライフサイクルコストを抑えることができます。

促進耐候性試験（メタルハライドランプ式）

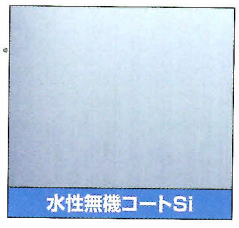


試験条件：波長…295～450nm
紫外線照射度…100mW/cm²
ブラックパネル温度…63℃、50%RH
4時間照射→4時間結露サイクル

超低汚染

反応硬化による緻密な塗膜が汚れの侵入を防ぎます。
また、無機質の特長である親水性により優れた超低汚染性を発揮します。

汚染性比較試験結果
屋外暴露による雨すじ汚れの比較

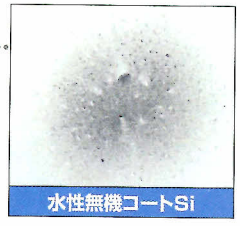

水性無機コートSi

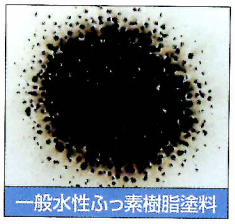
一般水性ふっ素樹脂塗料

難燃性

主成分が無機物質なので、非常に燃えにくい塗膜を形成し、建物を守ります。

燃焼性試験
ガスバーナーによる塗膜の燃焼試験


水性無機コートSi

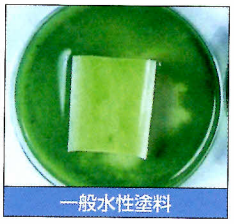

一般水性ふっ素樹脂塗料

防かび・防藻性

微生物（かび・藻など）の発生を防ぎ、長期間美観を維持します。

防藻性試験
寒天培地法による（28日間）

水性無機コートSi

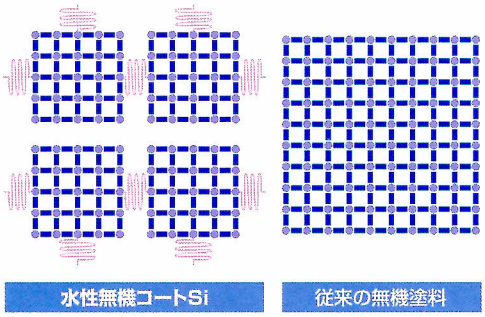

一般水性塗料

超高耐候性2液反応硬化形水性無機系塗料

水性無機コートSi

高性能

無機・有機のハイブリット化により、バランスのとれた強靱で柔軟な塗膜を形成します。



美しい仕上り

塗膜の表面は、無機の特長である「硬さ」と「緻密さ」を併せ持ち、粘着が少なく、また美しい光沢を有しワンランク上の仕上りが得られます。

塗膜性能

試験項目 ＼ 商品名		水性無機コートSi	品　質　規　格
容器の中での状態		合　格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
低温安定性(−5℃)		合　格	変質しないものとする。
塗装作業性		合　格	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。
乾燥時間	標準状態	合　格	2時間以内
	(5℃)	合　格	4時間以内
塗膜の外観		合　格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率 [白及び淡彩]		97.5%	95%以上
鏡面光沢度(60度)		90	70以上
耐水性		合　格	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。
耐アルカリ性		合　格	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする。
耐洗浄性		合　格	1000回の洗浄に耐えるものとする。
耐湿潤冷熱繰返し性		合　格	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰り返しに耐えるものとする。
促進耐候性		83%	メタルハライドランプ式1000時間照射後の光沢保持率
鉛筆硬度	23℃ 7日	HB	JIS K5600−5−4 塗膜の機械的性質−引っかき硬度（鉛筆法）　評価：塑性変形
	2ヶ月	3H	
耐屈曲性		合　格	JIS K5600−5−1　マンドレルΦ2mm　塗膜の乾燥:80℃×3日

可使時間

気温	可使時間
5〜15℃	8時間以内
15〜25℃	5時間以内
25〜35℃	3時間以内

適用部位

外壁、内壁、鉄扉、鉄鋼構造物

適用素地

コンクリート、モルタル、PC パネル、ALCパネル、サイディングボード、鉄骨・鉄板

色相

・白、黒、赤、赤さび色、オーカー色、黄色、紺
・調色品（淡彩色、中彩色、濃彩色）

標準施工仕様

■セメント系素地：塗替時（既存のテクスチャーをそのまま活かす仕上げ）

	工　程	塗　料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/m²/回）	塗回数	間隔時間（23℃）	施工方法
1	素地調整	塗替時	●既存塗膜の浮き,ふくれ,ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●汚れ、じんあい及び、チョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧15MPa以上）で除去する。 ●水洗い面を乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 ●シーリング面は、予めラフトン逆プライマーを塗装する。				
2	下塗り	リメークシーラーEPO 清水	100 3～5	0.20～0.50	1	3時間以上	はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り
3	上塗り	水性無機コートSi 清水	100 5～10	0.15～0.18	2	（工 程 内）2時間以上5日以内 （最終養生）24時間以上	はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り

・下塗りには、サミプラホワイト、ワイドシーラーEPOの使用もできます。

■セメント系素地：既存塗膜（リシン・吹付けタイル）のテクスチャーをさざなみ状に変える仕上げ

	工　程	塗　材	調合（重量比）	標準所要量（kg/m²/回）	塗回数	間隔時間（23℃）	施工方法
1	素地調整	塗替時	●既存塗膜の浮き,ふくれ,ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●汚れ、じんあい及び、チョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧15MPa以上）で除去する。 ●水洗い面を乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 ●シーリング面は、予めラフトン逆プライマーを塗装する。				
2	下塗り	リメークプラ 清水	100 1～3	0.80～1.50	1	8時間以上	パターンローラー塗り
3	上塗り	水性無機コートSi 清水	100 5～10	0.15～0.18	2	（工 程 内）2時間以上5日以内 （最終養生）24時間以上	ローラー塗り・エアレス塗り

■セメント系素地：新設時

	工　程	塗　料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/m²/回）	塗回数	間隔時間（23℃）	施工方法
1	素地調整	新設時	●素地は十分に乾燥させる。（含水率10%以下、pH10以下） ●素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは、予めラフトンフィラーなどの下地調整塗材にて補修する。				
2	下塗り	サミプラ 清水	100 0～5	0.08～0.10	1	3時間以上	はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り
3	上塗り	水性無機コートSi 清水	100 5～10	0.15～0.18	2	（工 程 内）2時間以上5日以内 （最終養生）24時間以上	はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り

・下塗りには、サミプラホワイト、ピナクルシーラー、ピナクルホワイト、ラフトンエポキシシーラーの使用もできます。

■金属系素地：新設時及び塗替時

	工　程	塗　料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/m²/回）	塗回数	間隔時間（23℃）	施工方法
1	素地調整	新設時	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮スキなどの手工具を併用して、さび・黒皮・じんあい・汚れなどを除去する。 ●油脂類は溶剤ぶきで除去する。				
		塗替時	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮スキなどの手工具を併用して、さび・劣化塗膜などを除去する。 ●油脂類は溶剤ぶきで除去する。 ●素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。（ブラシ・エアブロー・高圧水洗など） ●素地は十分乾燥させる。				
2	下塗り	エポマイルド	100	0.12～0.16	1	3時間以上	はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り
3	上塗り	水性無機コートSi 清水	100 5～10	0.15～0.18	2	（工 程 内）2時間以上5日以内 （最終養生）24時間以上	はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り

・下塗りにはエポプラ、リフノンの使用も可能です。（注:さびストップは使用できません。）

塗装上の注意事項

●降雨・降雪が予想される時、強風の時などは塗装を避けてください。
●気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
●施工面が高温（50℃以上）の場合は塗装を避けてください。
●施工面は、十分に乾燥させてください。
●主剤・硬化剤は正確に混合し、使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。また、可使時間内にご使用ください。
●他の塗料の混合は避けてください。
●各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
●たれ、かすれ、塗り残しがないよう均一に塗装してください。
●塗付量の数値は標準のものです。素地の形状や塗装方法、施工環境などによって増減することがあります。
●エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
●次のような素地の場合、付着不良を生じることがありますので、塗装を避けてください。
・清掃が不十分で汚れが付着している素地
・強度の低い素地
●適用部位、適用素地以外への使用は避けてください。
●ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑剤を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生や、はく離を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所は塗装を避けてください。
●シーリング面に塗装する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。
（ポリサルファイド系シーリングの場合は、2回塗りしてください。）
尚、シリコン系及びブチル系シーリングの場合は、塗装を避けてください。
●シャッター・歩行部分への使用は避けてください。
●ベンチ・ジャングルジムなど人が乗るもの、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
●開缶した状態で長時間放置しないでください。
●補修塗りは、使用した塗料（同一ロット）を用いて、同じ塗装方法で行ってください。

取扱い上の注意事項

●換気の良い場所で使用してください。
●居住者・隣家・車両などへ塗料ミスト、臭い、蒸気などが飛散しないような塗装方法を選ぶとともに、十分な養生をしてください。
●臭いは食料品・飲食器・衣類などに、うつる場合があるので、塗装場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分注意してください。
●粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないでください。
●環境への放出を避けてください。
●この製品を使用するときに、飲食をしないでください。
●取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分行ってください。
●保護手袋・保護眼鏡・保護面・保護衣・呼吸用保護具を着用してください。
●吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
●飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡してください。口をすすいでください。無理に吐かせないでください。
●目に入った場合は、水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けてください。
●皮膚（または髪）に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱いで取り除いてください。皮膚を流水・シャワー・石鹸で洗ってください。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
●漏出した場合は、すべり、流出の危険があるので直ちに布やウエスで拭き取ってください。
●容器を密閉し、涼しい換気の良い場所で施錠して保管してください。
●火災・腐食・盗難・凍結などの恐れのないところに保管してください。
●部外者や子供の出入りしないところに保管してください。
●内容物や容器などは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。
（排水溝、地面、河川などに流さないでください。）
●容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加えるまたは引きずるなど、粗暴な行為をしないでください。
●手環やバンドを用いて、高所への吊り下げ作業などは行わないでください。
●容器を手で持つ場合は、垂直に持ち上げて取り扱ってください。
●より詳細な情報は、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。

注）①建物の構造、塗装部位（雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など）によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。
②各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。

■荷姿

商品名	容　量	系　統
水性無機コートSi	16kgセット（主剤:15kg、硬化剤:1kg） 3.2kgセット（主剤:3kg、硬化剤:0.2kg）	主　剤：水系 硬化剤：第4類第3石油類
リメークシーラーEPO	16kg	水系
リメークプラ	16kg	水系
サミプラ	14kg	水系
エポマイルド	16kg・4kg（赤さび・グレー・白）	弱溶剤系

スズカファイン株式会社

営業本部　〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4　☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
技術本部　〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1　☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311　東京支店 ☎03-5661-2211　名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601　広島支店 ☎082-277-1116　四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

08/06

URL http://www.suzukafine.co.jp/

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
□本カタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。